



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和7年10月23日(木)実施 **地域学校協働活動**
南相馬市立上真野小学校 全校稲刈り



猛暑が稲を大きく育てた

5月22日(木)に田植えを行った上真野小学校の田んぼに、いよいよ稲刈りの日がやってきました。今年の夏も記録的な猛暑でしたが、植えた「マンゲツモチ(もち米)」には効果的だったようで、まっすぐ立つことができないうくらいに稲穂がたわわに実りました。さらに、一株を観察してみると、2〜3本だった苗が20本程度に分けつして増えていました。米が日本の主食になる理由が分かります。

いよいよ稲刈り開始



開会式では山田校長から、稲の成育の話や、田んぼを貸してくださっている地域の方や地域学校協働活動本部の方々の紹介がありました。改めて紹介していただくことによって、地域の方々と子どもたちの距離は近くなります。生涯学習センターの方、PTAの方、農家の方、まちづくり委員の方、JAの方など教室ではなかなかお会いすることのない方々との交流ができることも地域学校協働活動の良いところです。

稲刈りは専用の稲刈鎌を使います。刃の部分がノコギリのようにギザギザしていて、とても切れ味の鋭い道具です。昨年までは3年生以上が稲刈りをして、1・2年生は見学だけだったのですが、今年は全校生が稲刈鎌を使っの体験をすることになりました。

1・2年生は、地域の方や先生と一緒に動きを確認しながら刈り取りをしました。マンゲツモチの茎は他の品種よりも硬いので少々力が必要でしたが、全員が稲刈りをする事ができていました。なお、3年生以上の皆さんは慣れたもので、どんどんと作業を進め、全ての稲を刈ることができました。刈り取った稲を運んだり、落ちていた稲を拾ったりする作業は5・6年生の皆さんが率先して行っていました。

脱穀の見学

脱穀はコンバインで行いました。さすがに子どもたちは見学です。自分たちが刈り取った稲が次々と機械に飲み込まれていく様子を見るのは毎年のことながら興味深いようです。今回は、協働活動本部の方の御厚意で、コンバインのアームを動かしてして下さいました。社会科で米作りを学んでいる子どもたちにとって、生きた教材となりました。デジタル教材では感じられない、農業の雰囲気をつかむことができました。

皆さんの感想

閉会式では協働本部の方や、子どもたちからの感想を聞くことができました。協働本部の方からは、「皆さんは、とっても頑張りました」「ご飯をたくさん食べてくれると農家の人は喜びます」というメッセージをいただきました。子どもたちからは「農家の皆さんに手伝ってもらえて感謝します」「地域の皆さん、ありがとうございます」「今度やる餅つきが楽しみです」という言葉がありました。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」稲の穂が実ると重みで自然と垂れ下がるように、上真野小の子どもたちも地域で学ぶことにより、知識や徳がますます深まり、謙虚さと感謝の気持ちが現れてきていました。

【今回使用した写真は全て相双教育事務所のデジタルカメラで撮影したものです】

